

## 地方建設会社におけるISO9000シリーズの現状

佐賀大学 学生員 ○片岡 智宏  
佐賀大学 正会員 石橋 孝治

### 1. はじめに

従来我が国のあらゆる企業において品質管理にはTQCが用いられてきた。しかし、近年このTQCに代わってISO9000シリーズ(以下ISO9000s)という新たな品質システムを導入する企業が増加している。ISO9000sは品質管理及び品質保証に関する国際規格である。従来のTQCは供給者の自主的な改善促進により品質システムを構築してきたのに対して、ISO9000sでは顧客の要請を先として現状の水準を維持していく品質システムを構築し、さらに第三者の機関の認証を得て成り立つものである。このISO9000sはほとんどすべての産業分野で適用可能な規格とされており、建設業界も建設省をはじめとする公共工事の発注官庁が、入札条件としての採用を検討し始めたこともあり認証取得をしようとする動きが活発化している。そこで、本研究では現時点で佐賀県内の建設会社のISO9000sへの認識がどの程度なのかを調査するためアンケートを実施した。

### 2. アンケート調査の実施方法

アンケート調査の対象を佐賀県内に本社を置く建設会社の中の土木一式に限定し、528社のうち493社に対し郵送にて実施した(実施期間 平成9年12月17日～平成10年1月14日)。質問項目は全部で11項目である。主な質問項目を以下に示す。

- ・このアンケート以前よりISO9000sをご存知でしたか
- ・建設省、土木学会等の開催するISO9000sに関する講習会の案内が来たことはありますか
- ・ISO9000sがJISZ9900sとしてJIS規格の中に取り入れられていることはご存知ですか
- ・建設省等の国の発注官庁が、公共工事の入札条件にISO9000sの導入を検討していることはご存知ですか
- ・ISO9000sの認証取得の予定がありますか
- ・今後の品質保証に関して経営戦略にどのように配慮されますか

### 3. アンケート調査結果

1月12日時点でのアンケート回収状況は、回収率が25.2%、有効回収率が24.3%、回収アンケートの内60%が建設業協会に加盟している会社であった。

#### ①ISO9000sの認識について

図-1に回答の割合を示す。「知らなかった」と回答した会社に対し「今後ISO9000sについて勉強していこうと思われますか」という追加質問をしたところ、71%の会社が「YES」、29%が「NO」と、本調査がISO9000sに関心を持つ契機となったと思われる。そしてNOの回答の理由としては「現在のところ必要性が感じられない」、「必要となった時に検討する」という回答が大半であった。

#### ②ISO9000sに関する講習会の案内について

図-2に回答の割合を示す。「来たことがある」と回答した会社に対し「その講習会に参加しましたか」という追加質問をしたところ、58%の会社が参加している。逆に、「来たことがない」と回答した会社に対して「今後そのような講習会

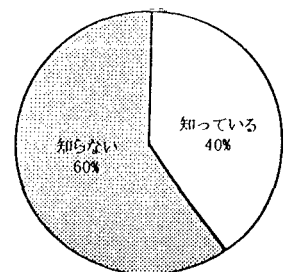


図-1 ISO9000sについて

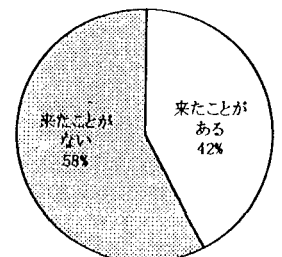


図-2 講習会の案内について

があった場合参加しますか」と追加質問したところ 35%の会社が「参加する」と回答している。半数近くの会社は学習意欲が高いと思われる。

### ③ISO9000sのJIS規格化について

図-3に回答の割合を示す。「知っている」と回答した会社に対し「そのJISZ9900sを購入し利用していますか」と追加質問をしたところ、大部分の会社が「NO」の回答だった。逆に、「知らない」と回答した会社に対し「今後購入され利用しますか」と追加質問したところ、59%の会社が「YES」と回答し関心を示している会社が多かった。

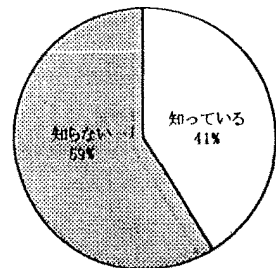


図-3 JISZ9900Sについて

### ④発注機関の動きについて

図-4に回答の割合を示す。「知っている」と回答した会社が68%を占め、発注機関の動きに注目している会社が多い。将来的にはISO9000sが導入されるであろうと方向性を認めた上で、具体的な時期、方法等に関心が集中しているのではないと思われる。

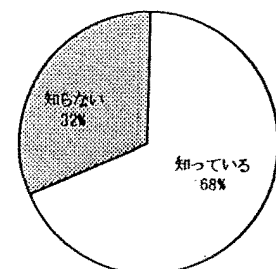


図-4 発注機関の動きについて

### ⑤ISO9000sの認証取得予定について

図-5に回答の割合を示す。21%の「認証取得する予定」の会社に対し「既に認証取得に向けて動いていますか」と追加質問したところ、44%の会社が「既に動いている」の回答だった。また、79%の「認証取得する予定ではない」の会社に対し「今後前向きに検討しますか」と質問したところ62%の会社が「YES」の回答だった。

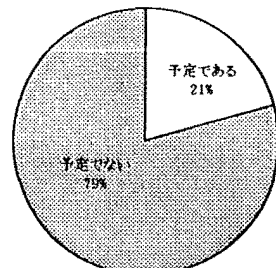


図-5 認証取得予定について

### ⑥ISO9000sと経営戦略の関係について

「PI法対策」、「社員の意識向上」、「企業体質の強化」、「他社との差別化」、「一環したプロセスによりコストの見直しと低減を実現し、来たる自由化競争への対応」等にISO9000sを役立てたいという意見があった。

## 4. まとめ

現時点での佐賀県内の建設会社のISO9000sへの対応は、ISO9000sについては関心を示しているものの、認証取得となれば今後の動向を静観する形に留まっている。その要因として、認証取得をする際にコストがかかること、建設省等の発注官庁が、国の直轄発注工事(大規模工事)の一部をパイロット工事としてISO9000sの導入における諸問題を検討している段階であることが考えられる。

本報告では、データ整理を行ったままで、後日着信したデータを加えて分析を加える予定である。

## 謝辞

佐賀県建設業協会をはじめ今回のアンケートに御協力頂いた、佐賀県内の建設会社に厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

- 1) 飯塚 悦功:ISO9000とTQC再構築
- 2) 土木学会コンクリート委員会:ISO9000Sとコンクリート工事に関する報告書